

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	東部環境センター管理事業		部課コード	1810	予算事業科目	010403020220	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	明神 公平		個別事務	全部	010403020220	-		
	担当部署	東部環境センター	所属長名(1次評価者)	大久保 高秀					-		
	電話番号	088-883-1155	E-mail	kc-181000@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	市民・事業者・行政が一体となって、協働・参加による環境保全活動に取り組み、地球環境に貢献する循環型社会システムの確立をめざします。
款	04 衛生費	政策	02 地球環境に貢献する循環型社会の構築		
項	03 清掃費	施策	04 廃棄物の適正処理		
目	02 し尿処理費	区分	04 収集処理体制の充実		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	○廃棄物処理法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	○高知市一般廃棄物処理計画(基本、実施) ○東部環境センター連絡協議会との確認書	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市で発生するし尿と浄化槽汚泥を	
意図	どのような状態にしていくのか	適正処理するとともに、処理水は農業用水として供用する。	
手段	事業実施体制等	○し尿処理場(東部環境センター)の運転管理は民間委託、保安全管理は市管理。	事業開始年度 昭和59年度 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	○安定処理、省エネ運転など適切な運転方法を選択するとともに、故障、トラブル時の迅速な対応により、処理停止を回避していく。 ○定期点検整備工事等により予防保全を図る。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A		
	B		
	C		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	185,960	183,830	174,405	180,690		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	185,960	183,830	174,405		180,690
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	42,525	42,525	39,975	39,975		
		正規職員 (千円)	42,525	42,525	39,975	39,975		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	5.67	5.67	5.33	5.33		
		正規職員 (人)	5.67	5.67	5.33	5.33		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		228,485	226,355	214,380	220,665	総コスト/年度末人口		
市民1人当たりコスト (円)		669	664	631				
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○発生した廃棄物の全量を安定的に適正に処理を実施した。
 ○施設正式稼働後27年目。生し尿は毎年減少、浄化槽汚泥は横ばいないし微減の最近は傾向にある。さまざまな省エネ運転の継続。
 (1系列運転は16年度から、攪拌方式の変更は18年度、オゾン設備の小型化は19年度)
 ○市民生活上必要不可欠な事業であり、施設の老朽化に対し長寿命化を図らなければならない。
 ○東部総合運動場で発生する汚水の処理および処理水の周辺農地への農業用水としての供給。
 ○施設全体使用期間の設定と今後の長期整備の計画設定。

6 1次評価 (所属長評価)

評価日 (平成 22 年 9 月 22 日)

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	し尿と浄化槽汚泥はいずれも一般廃棄物であり、その処理責任は市にあるところ、その適正処理のみならず、処理水を農業用水として供用し、強い地元要望にも応えている。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ(需要量)の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	本施設は高度な処理機能を有しており、日々適切な保全管理、運転管理を行い、その性能を十分に発揮している。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	本事業は開始当初より運転管理委託を実施し、廃棄物の安定処理に貢献している。 脱水汚泥の清掃工場への運搬業務や三里最終処分場の浸出汚水処理施設運転管理業務も包含した委託業務としている。 1系列運転や攪拌方式の変更など徹底した省エネ運転に取り組んでいる。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	下水道供用区域は下水道終末処理場で処理、それ以外の区域はし尿処理場で処理するという明確な役割分担となっている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合 点 20.0	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 2次評価 (部局長評価)

評価日 (平成 22 年 9 月 29 日)

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項